

# みやこはし 京の橋しるべ 第16号

(令和元年12月発行)

## ◆ 魅力的な橋りょうについて

今回は、本市の橋りょうの中で、使用されている部材に特徴があり、魅力的な橋りょう3橋を紹介していきます。

## ◆ 格好いい「高欄こうらん」を持つ橋りょう

江戸時代の絵図を取り入れた意匠的な「高欄」を持つ橋りょうとして、西賀茂橋にしがもはしを紹介します。賀茂川の上流にある西賀茂橋は平成3年に架けられました。

高欄とは欄干らんかんの土木用語であり、歩行者の安全のために、橋路面の側端に沿って地覆じふく（側端部に道路面より高く段差をつけた部分）上に設ける柵あるいは壁状の安全施設のことです。

この高欄は地元の方々や学識経験者などからご意見を伺いながら検討を行い、自然豊かな北山の風景を活かすため、江戸時代中期に活躍した京の絵師・尾形光琳の描いた波の絵図を参考に取り入れてデザインされており、他の橋梁にはない魅力的なものです。



絵画の波を模した高欄



波の絵図（松島図屏風）

## ◆ 珍しい「流木止め」を持つ橋りょう

大雨等の際に川の上流から流れてくる流木や石などをせき止め、橋脚への衝撃を和らげる「流木止め」を持つ橋りょうとして、渡月橋とげつきょうを紹介します。この橋りょうは嵐山にある桂川に架かる橋りょうで、史跡及び名称嵐山における重要な構成要素でもあります。現在のものは昭和9年に架けられ、平成7年度から6年間、橋の補強及び高欄、雨覆の新調などの大規模な改修工事が実施されました。

渡月橋にはコンクリート製の流木止めが上流側に21基、下流側に14基設置されており、平成30年の西日本豪雨や台風21号等による豪雨の際にも、流木止めは一部破損したものの、橋りょう自体に大きな被害はありませんでした。

## 西日本豪雨（平成 30 年 7 月）



高水時

※橋脚側の流木止めは  
水没している



被災直後

橋脚に被害はない

### ◆ 趣がある「灯ろう」を持つ橋りょう

おやばしら  
親柱に古風な石製の「灯ろう」を持つ橋りょうとして賀茂大橋を紹介します。今出川通にある鴨川に架かる賀茂大橋は、昭和8年に架けられました。

親柱とは、高欄の一部で、橋りょうの両端に設ける柱などのことです。京都市では橋名、河川名などを記しています。また、意匠性を備えた擬宝珠や、照明機能も兼ね備えた灯ろうが設置されている親柱もあります。

賀茂大橋には、親柱頂部に石製の灯ろうが設置されており、明治時代は石油ランプで点灯していましたが、戦後に点灯が中断されました。

点灯されていない時期が続きましたが、橋周辺の暗さを解消したいという思いから、昭和58年にナトリウム灯を用いて点灯を再開しました。

現在では夕方になると、14基の灯ろうにオレンジ色の灯が灯り、情緒溢れる風景を醸し出しています。



### ◆ 魅力的な橋りょうの継承

これまで紹介した橋りょうの他にも京都市には、魅力的な橋りょうが多数存在します。それらを適切に管理するとともに、補修等を行う際には魅力が失われないように努め、魅力的な橋りょうを後世に継承していきたいと思ひます。

## 〈京の橋の紹介⑮〉

### 古門前橋（ふるもんぜんばし）

場 所：京都市東山区石橋町  
 河 川 名：一級河川 白川  
 橋の種類：鉄骨鉄筋コンクリート橋  
 橋 長：17.2m  
 幅 員：7.0m  
 完 成 年：昭和10年（1935年）



知恩院の古門前にあり、白川に架かる現在の古門前橋は、昭和10年に架け替えられた橋りょうです。

老朽化が進行していたため、平成29年度から30年度にかけて、老朽化修繕工事及び耐震補強工事を行いました。舗装工事では、自然石を用いつつ大型車の通行にも耐える特殊な工法により、風情ある石畳の味わいを再現しました。

川に入らないと確認できませんが、中央部分にある橋脚には、「正徳年間創設」や「施工者辰巳松五郎」（推測）の文字が彫られ、<sup>しょうとく</sup>正徳時代（1711年～1716年）から使われている可能性があり、歴史ある橋りょうと考えられます。

知恩院や八坂神社にお越しの際は、ぜひ古門前橋まで足を延ばし、情緒あふれる風景の中で、歴史の流れを感じてみてはいかがでしょうか？



## ◆ 京の橋しるべについて

私たち建設局橋りょう健全推進課では、市民の皆様の安心・安全な生活を守るため、京都市が管理する「橋」の耐震補強と老朽化修繕を進めています。

その取組を市民の皆様にもっと知っていただくため、また、私たちの日常生活を支えるかけがえのない「橋」について関心を持ってもらい、身近なものとして親しんでいただくため「京の橋しるべ（みやこのはししるべ）」というリーフレットを定期的に発行し、市民の皆様に「橋」にかかわる様々な情報を発信しています。

「道しるべ」は、道路に目的地までの距離や方向を示し、道案内のために設置されたものですが、「橋しるべ」は私たちの「橋」に関する取組などをわかりやすくお伝えして（案内して）いきたいということで名付けました。

発行・お問い合わせ 京都市建設局橋りょう健全推進課 (TEL 075-222-3561)



京都市では、橋の歴史や補修取組、有名な橋を紹介した冊子「<sup>みやこ</sup>京の橋しるべ」と、道路や公園などの損傷箇所を投稿するアプリ「<sup>みやこ</sup>みっけ隊」を配信しています。

詳しくは Web で！ [京の橋しるべ](#)

検索



& [みっけ隊 募集中](#)

検索

